広報
さめがわ

1972
2月号
No.219
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町・佐藤印刷所

ついに完成した統合鮫川中学校



昭和22年新制中学校の制度が発足した当時から、一村一校の立派な中学校を作りたいという希望は、長い間の村人の夢でしたが、いよいよ昭和47年1月をもつてそれが実現しました。

みどりと太陽と、雄大な眺望に恵まれた、歴史の年輪も古い壇の岡に、堂々たる雄姿をあらわしたこの施設こそ、鮫川村6千村民総力の結集であり、教育を尊重する村人の心のシンボルともいわれましよう。

⊙毎月1日は交通事故ゼロの日
⊙2月22日鮫川村納税表彰式
⊙2月29日～3月13日全国火災予防運動
⊙第3日曜日は『家庭の日』です

今月の人口

（2月1日現在）

人口	6,474（−21）
男	3,268（−12）
女	3,206（−9）
世帯	1,196（−1）

川をきれいにしましょう

ゴミの処理についてはどこの家庭でもお困りのことでしよう。ゴミは焼却炉で燃やすか、空地等に深く埋めるのがよいわけですが空地の利用ができない家庭では、毎週火、木曜日にゴミ収集車が巡回しますから、必ず利用して、川等に捨てないようにおねがいします（ただしゴミ収集車の運行は特掃区域に限定されています）

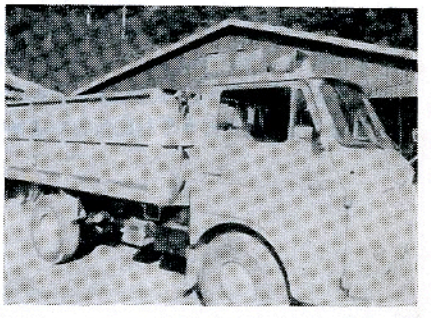
村ではみなさんの御協力を得るため各地に立看板を立ましたのでゴミを川に捨てないできれいな川にするようお互に注意して下さいまた燃えないゴミ（空缶、空瓶等）は燃えるゴミと区別して収集車に渡して下さい。

◉ゴミ収集車運行路

稚蚕飼育所→旧鮫川中→局前→鮫小入口→給食センター入口→松屋食堂前→大池清敏宅前→農協前→保育所→小滝マツヘ宅前→役場前→窪木美義宅前→湯の田→彦次郎→上耕地

以上の行程で運行され、オルゴールを吹鳴しますから、燃えないゴミと燃えるゴミを区別し車の所まで持参して下さるようお願いします。

川にゴミを
すてないで
下さい



政府予算確保運動をかえりみる

村長　石田卯子八

政府の歩み (10)

毎年政府予算のもとになる大蔵省原案が内示される十二月に入ると、東京の永田町にある全国町村会館の九階屋上から、大きな垂れ幕やノボリが立てられ、師走の忙しさに心急ぐ人たちに、一段とあわただしさを感じさせるのが通例です。

今年度は「町村財政の危機打開」ということが、大きな命題となりました。

町村の財政は、自主財源の町村税で賄われることは、理屈の上で当然のことながら、一般には三割自治といわれ、わが村の場合村税は年間予算の七―八％という実情ですから、歳入の主要部分は地方交付税に依存しなければならないのが実情であります。

その地方交付税は、国税の所得税、法人税、酒税の三二％が充てられることになつており、わが村の四六年度予算では現計で歳入総額の五四％を占めております。

それが景気の後退、ドルショックなどの影響で国税の伸びが期待できなくなり、地方交付税に直接その影響がくることになります。

一方地方公共団体の行政需要は高まるだけであるから、昭和四七年度の財源不足は一兆円にも達するものと概算され、地方財政が危機に直面することになつたのであります。

全国町村長大会が開かれ、都道府県も市町村も、或は各別に、或は共同して強力熱心な運動が展開されました。

そのような息苦しい過程を経て地方財政対策は自治省を中心に進められ、財源不足額を七、九二三億円と計算され、一般会計から交付税会計に一、〇五〇億が出されることになり、資金運用部からの借入れ一、六〇〇億円、沖縄関係三六五億円、地方債の増発四、九〇八億　ということで、つじつまを合せることになりました。

従つて数字の上ではどうやらこれで地方財政の危機をのり切ることができようということになつたわけであります。

私は、全国山村振興連盟の関係で、山村振興の第二期対策の予算をつけて貰うための運動にも参加し、全国町村会館を根拠にして静岡、岡山、長野、群馬などの町村長の陣頭に立ち、数日国会と中央省庁、政党本部の間を歩き廻りました。

この期間を通じて考えさせられたことは、このような国家予算編成のあり方に対する不満と疑問であります。

このことのために全国から動員されるエネルギーは実に大変なもので、先づこの膨大なムダをなくし、もつと合理的で能率的な、しかも適正な予算編成方式が樹立されなければならないことを痛感したのであります。

人事

◉新採用（二月一日付）

鈴木　勲（経済土木課土木係）

おめでた

一月

余所内　関根　修父　功男
酒垂　斉藤　紀江　〃　実
前田　前田　甲子　〃　初
岫長　北条　邦子　〃　正敏
馬場　鈴木由紀子　〃　勝正

おくやみ

一月　世帯主

沼野沢　本郷　マサ　76才　暉弥
追木　水野　武雄　82才　吉三郎
馬場　鈴木千代吉　77才　輝男
中沢　円谷　学　0才　未之助
官代　田子　ミサ　78才　国吉
前折戸　矢吹　マキ　85才　定吉
旗門場　高坂　大助　58才　トク

◇　◇　◇



＝壇の岡にそびえ立つ教育の新殿堂＝

鮫川統合中の施設完成を祝う



昭和四十四年度から着工された統合鮫川中学校施設整備事業は、屋内運動場と水泳プールを最後に完成し、三ヶ年の全体計画は全部完了しました。

この記念すべき統合中学校施設整備事業完成祝賀式は、八田代議士を始め多数の来賓と五百余名の職員生徒等約一千名が塗装も新しい屋内運動場に参集し、一月二十九日盛大に行われました。

石田村長は、式辞の中で特に、新制中学校制度発足以来、村人の胸に秘められた一村一中学校の夢が、二十五年の星霜を経た現在ようやくその願望が叶えられ、歴史の年輪も古い壇の岡に堂々たる教育の殿堂が完成したことは、六千村民総力の結集であり、教育を尊重する村人の心のシンボルとして後世永く称えられるべきものと信ずると述べ、また緑と太陽と雄大な眺望に恵まれたこの環境で行われる教育活動は、明るく、豊かにしかも効率的に行われることを期待すると今後の中学校教育に対する希望を述べられました。

席上この整備事業に協力された中学校対策協議会委員、同建設協議会委員、土地協力者及び寄附者工事請負関係者等にそれぞれ感謝状が贈られました。

最後に荒川校長と生徒代表の関根伸慈君から感謝のことばが述べられ、屋体玄関の鍵を村長から教育長へ、教育長から学校長に交付され、式典を終りました。

統合鮫川中学校施設整備事業の概要



1. **校　舎**
   建築面積　3,470,52㎡　　構造　鉄筋コンクリート3階建
   着工　昭和44年5月7日　　竣工　昭和46年1月30日（但し1期工事竣工昭和45年5月30日）　　設備　暖房設備、放送設備、火災報知器給排水衛生設備、防犯灯
   工事費　141,278,000円
2. **屋内運動場**
   建築面積　1,014,48㎡　　構造　鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）　　設備　放送設備、火災報知器、体育器具設備　着工　昭和46年7月15日　　竣工　昭和46年12月20日
   工事費　38,499,000円
3. **屋外水泳プール**
   敷地面積　1,894㎡　　プール水面積　375㎡（25m×15m）7コース　　建物面積　更衣室24.0㎡、便所18.0㎡、機械室9.36㎡、倉庫3.7㎡　　設備　給排水衛生設備
   附帯工事　暗渠排水工事、用水路工事、給水引込工事、外部電気工事　　着工　昭和46年7月22日　　竣工　昭和46年10月31日　　工事費　12,825,000円
4. **スクールバス購入**　（昭和45～昭和46年）
   台数　3台　　7,300,000円
5. **自転車置場**
   面積及び構造
   45年度　1個所　　鉄骨造　72.0㎡
   46年度　2個所　　鉄骨造　180㎡
   工事費　1,410,000円（整地費含む）

◉**工事費総合計**　201,312,000円

商工青年～村長と語る

明るい環境づくり・経済振興のビジョンなど

鮫川村商工会青年部では一月三十一日午後から事務所で、石田村長をかこむ懇談会を開き、これからの村政の方向についての話をきいた後、懇談に入り、湯坐啓亘青年部長の司会で次のような懇談を行いました。

問（湯座良政）
交通事故を防ぐためにも、買物などの便宜のためにも、駐車場があるとよいと思いますがよい方法がないでしょうか



答（村長）
市や町の大きな商店は、単独で駐車場をもっているようですがわが村では商工会などが共同で駐車場を設置し、村がこれを助成するという方法がよいではないかと思います。

問（須藤　宏）
明るい環境づくりのため、側溝のゴミや泥を清掃することや、川をキレイに



昭和47年 新入学児童



今年の四月、小学校に入るお子さんは、昭和四十年四月二日から昭和四十一年四月一日までに生れた子供さんたちです。十二月一日現在住民基本台帳で適令児童を調査しましたが今年度は一〇四名で昨年より三十名少なくなっております。

入学予定のお子さんは次のとおりですが、姓名がちがっていたりもれている児童がおりましたら二月末日まで教育委員会に申し出て下さい。（電話四二番）

◉青生野小学校

児童名（保護者名）

鈴木ミキ子（一夫）石井重幸（重春）笹島政光（幸八）長久保美智子（光市）菅野栄幸（憲）星孝彦（俊一）藤田かよ子（浪子）

（男四名、女三名、計七名）

◉渡瀬小学校

赤坂誠（幸猪）赤坂知代（基）山形和江（浩）鈴木誠二（実）菊地次男（末次）蛭田浩二（一）寺島進二（正利）松本多加子（幸典）蛭田里美（洋二）藤田健司（昌司）小松正三（幸次）野内広（喜一）松岡幸男（久二郎）藤田美光（美喜男）遠藤誠（盛也）伊藤栄子（山形昭男）

（男十一名、女五名、計十六名）

◉富田小学校

石井栄伸（栄）金沢好子（太一）鷲野谷幸子（武志）岡部勝男（義恵）

（男二名、女二名、計四名）

◉鮫川小学校

須藤明（泰助）橋本剛男（次男）穂積浩次（義富）前田孝次（吉之助）大池真貴子（弘義）鈴木和男（秀安）舟木圭子（嘉一）矢吹ュミ子（利己）宗田敦子（文夫）藤田里香（隆千代）湯座千恵子（克昌）窪木幸弘（茂幸）矢吹晴子（豊治）鏑木政彦（長吉）生田目洋子（通）芳賀はつえ（正志）高橋俊行（忠夫）斉藤利己（輔男）高坂光子（昭）近藤祐美子（清次）蛭田章子（四一）蛭田明美（一二）鏑木正幸（正昭）前田真樹（孝徳）田子勉（勉一）小林恵子（直次）前田純子（重男）市田丙午（初）中川西美伸（一美）中川西まつの（富士男）中川西うめの（富士男）吉保勝宏（勝）高野真子（幸夫）

（男十四名、女十九名、計三十三名）

◉戸草分校

芳賀加代子（重良）溝井一郎（信次）諸橋光美（金作）諸橋マスエ（覚知）本郷フミ子（清美）芳賀勝美（貢）

（男二名、女四名、計六名）

◉東野分校

鈴木真由美（孝雄）有賀洋子（忠男）鈴木君江（武）萩原進（実）中川西幸伸（寅夫）

（男二名、女三名、計五名）

◉西野小学校

石井恵子（利雄）石井幸夫（福一）石井隆二（隆夫）石井めぐみ（照弥）須藤幸夫（金一）白坂智子（重雄）生田目公二（茂）矢吹春己（喜太郎）矢吹悦子（幸也）高坂隆之（章）鈴木ケイ子（正秋）星明美（一弥）矢吹得雄（一明）佐藤栄作（光久）北条則夫（恵三）藤田美佐枝（一夫）藤田正義（英昌）鈴木文子（啓仁）舟木富士以（誠也）

（男十名、女九名、計十九名）

◉西山小学校

生田目春芳（芳）水越義恭（直一）緑川教子（勝美）松崎恵子（清）関根順子（英男）関根三恵子（初男）芳賀貢（一兄）根本高子（勇）坂本清美（忠雄）松崎勝雄（健一）松崎文子（清次）水野貴子（正）本郷義一（良光）鈴木浩二（誼）

（男七名、女七名、計十四名）

◉合計 男五二名・女五二名・計一〇四名

ほくも、わたしも 交通安全

自動車等の運転免許所持者は昨年の十月一日現在で福島県内で五一八、三五三人、全国で二七、六〇〇、〇〇〇人います。

自動車の数も年々ふいており、交通事故もこれに比例して多くなっています。

昨年一年間の県内の交通事故は一四、〇〇一件で一八、九一六人の死傷者を出しています。

これらの事故は全く不可抗力的なものでなく、事故当事者の良識や適切な注意があれば回避できたものです。又三十歳未満の若い運転手による事故は全体の七二%を占めております。

運転手も歩行者も交通ルールを守り、交通事故をおこさないよう努めましょう。

（村民の願い）

飲酒運転やスピードの出しすぎは危険です。絶対に止めて下さい。



問（白坂真平）

統合中学校が整備され、村民運動場も出来るという話ですが、館山を中心に公園ないし遊園地という考はどうでしょうか。

答（村長）

ゴミとし尿の処理は、数年前から東白川地方町村の一部事務組合で、塙地内に処理場を作っているので、収集車を利用して一括処理して貰うのが一番よい方法です。隣り組単位程度に集めておく場所を定めておいて、所定の日に持って行くようにして貰うのがよいでしょう。各家庭で大型の容器などを持っていれば持ち運びが便利です。

側溝の清掃は、道路管理者の責任ともいえるが、舗装になると唐鍬で路面補修をすることもなくなるので、道路愛護会の仕事としてやって貰ったらよいかと思います。

川をキレイにすることは行政的な措置も必要ですが、地域の人たちの川を守る住民運動が大切です。公衆便所の問題も検討してみましょう。

問（白坂真平）

統合中学校が整備され、村民運動場も出来るという話ですが、館山を中心に公園ないし遊園地という考はどうでしょうか。

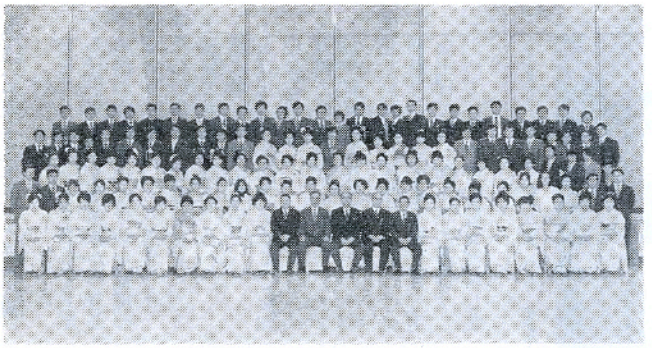
答（村長）

ゴミとし尿の処理は、数年前から東白川地方町村の一部事務組合で、塙地内に処理場を作っているので、収集車を利用して一括処理して貰うのが一番よい方法です。隣り組単位程度に集めておく場所を定めておいて、所定の日に持って行くようにして貰うのがよいでしょう。各家庭で大型の容器などを持っていれば持ち運びが便利です。

側溝の清掃は、道路管理者の責任ともいえるが、舗装になると唐鍬で路面補修をすることもなくなるので、道路愛護会の仕事としてやって貰ったらよいかと思います。

川をキレイにすることは行政的な措置も必要ですが、地域の人たちの川を守る住民運動が大切です。公衆便所の問題も検討してみましょう。

一四四名の成人を祝う



鮫川村では、一月十五日に、新しく二十歳になつた、青年一四四名を招待し、盛大に若人の前途を祝福しました。

成人の証を手にした若者たちは多数の来賓からお祝のことばをうけ、晴れて社会人となつた喜びはひとしおのようでした。

成人者を代表して「私達は、先輩方に感謝するとゝもに、社会人となつた責任の重大さを自覚し、懸命に努力してゆきたい……」と力強く誓のことばを述べる鈴木治男君。



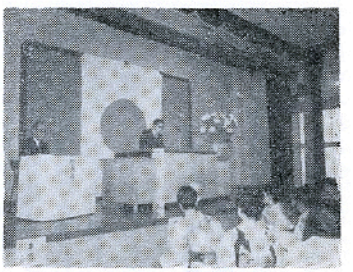
又東野宇槍久保森洋君と西野宇酒垂石井圭子さんから成人となつた感想文の発表がありました。

（感想文要旨）

森　洋

早く大人になりたいと思いつゝ過して来た日々を思えば、今にしてなつかしく、又いつまでもあの頃のまゝでいたいと思います。

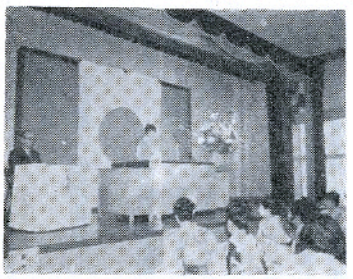
社会的に一個の大人として認められるようになり、法的にも選挙権等の権利を得、多分に社会に対しての責務の重大さを感ぜずにはいられません。だからと云つて変に年寄りじみて外見だけの大人であつてはいけないと思いますし、また社会的に大人であつても人間的な大人がともなわねばならないと思います。



石井　圭子

今日ここに成人式を迎えることができ、嬉しい気持ちで一杯です。この世に誕生し、そして又再び誕生した様な不思議な思いです。この世に初めて産まれた時と異るものは、大人になつたという喜びが肌で感じられることです。

今幼い頃、学生の頃の思い出がなつかしく思い出されます。



おてんばぶりを発揮して先生達を困らせた思い出深い学校生活ともお別れに近づいた時、将来どうしようかと迷つたすえ、就職することに決め、女の子なら一度はあこがれるバスガイドを志してバス会社に入社しました。しかし現在は別な会社に勤め、進学の夢が忘れがたく会社と学校での勉強を両立させています。そして将来おとずれるであろう自分の家庭のためファイトを燃やしています。

統合中完成祝賀式に臨んで

小松幸一

統合鮫川中学校の完成式に出席して、正に堂々たる偉容に驚いた工費二億数千万円と聞き村当局の熱意に敬意を表します。村の時間厳守は認めていたが、その正確さには改めて驚きました。村内の各種団体も見習つて時間を厳守していただきたい。又式典に村長、議長、校長が礼服を着用したのは正しく厳粛であつて心地よかつた。

学校に通じる新道には桜の木が沢山植えられてありうれしいが、折られているものが多いので補植して成木させ、花の名所としたいものだと思う。

問　（橋本政嗣）

文化祭の花火などは、商工会の方へまかせて貰うことはどうでしょうか。



答　賛成です。商工会青年部でやつてくれるということであれば村で援助するという手もあると思います。

問　（市川正尚）

私は働く青年の交歓会というものをもつてみたいと思います。



商工青年だけでなく、広く村内の農業その他働く青年たちの集いをもつて、交歓することは有意義だと思います。

答　（村長）

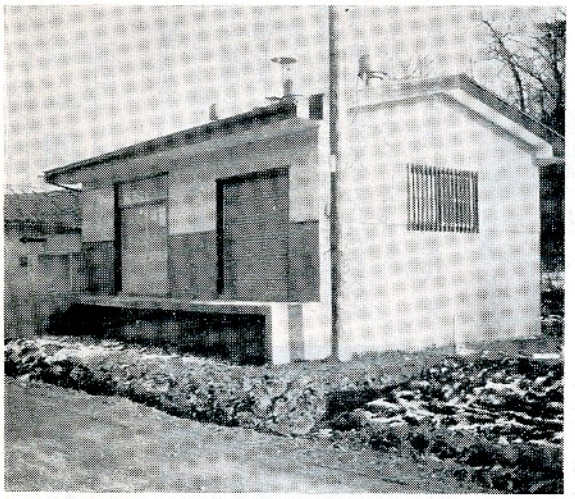
昔はレジャーといえば罪悪視される傾向もありましたが、これからは週五日制が一般化しようとしており、余暇をたのしむ傾向はますます強くなります。また文化遺産を大切にするためにも、昔この地方を支配した赤坂氏の居城跡といわれる館山は、景観の上からも歴史的価値の上からも、もつと手入れをして、観光的な価値を高めたいものです。

人は右車は左正しい交通

あと二カ月足らずで新しく入学する子供さんを交通事故から守るため次の点について今から習慣づけるようにしたいものです。

◉正しい歩行の習慣
・道路の右側を歩く。
・横に並んで歩かない。
・とび出しは危険であることを知らせる。
・道路での遊戯はしない。
・音や障害物に注意する。

◉正しい横断の習慣
・横断は右左の安全を確かめ、手を上げて合い図をして渡る。
・止つている車の前後を横断しない。



モデル集乳所落成

酪農団地を強化するため、酪農振興対策事業として福原地内にモデル集乳所が建設されました。面積43.74㎡ 総事業費1,200千円（内補助金900千円、自己負担300千円）

⊙運転免許証は符号化されコンピューターが記憶しています。

事故や違反行為は点数制となつて、一定の点数になると免許取消になります

（免許証番号）

2 5	7 0	1 2 3 4 5 6	0	—	0 1 2 3
↑県名	↑年度	↑個有番号	↑付再交回数		↑交付順序

—郵便貯金、世界一の九兆円—

平和という言葉は、笑顔で明朗な家庭の「心のゆとり」の中から、自然に生まれてくるものではないでしょうか。

みなさんの心のよりどころとして、いつも愛され、親しまれている郵便貯金も、昨年末九兆円という大台を突破し文字どおり世界一の貯蓄機関に成長させていただきましたたゞ単に口で九兆円と云えますがこの金額は千円札で積重ねると富士山の二二六倍

・千円札を横に並べると地球から月へ行き、月を八周して地球までもどれる
・一戸三百万円の家なら三百万戸建築できる
・日本の人口割にすると一人当り九万円になります。

みなさんからお預りした、この巨額の郵便貯金は、すべて国の財政投融資の主力として運用され、住みよい明るい社会の建設のために役立てられております。

鮫川村の農業発展にも農林中央金融公庫から、農協の機関を通して融資され役立てられています。

（鮫川郵便局）

問（藤田隆千代）



村の経済のビジョンをきかせて下さい。

答（村長）

結構な提案です。最近は青年会活動などもなかなか容易でないようですが、お話のような形の青年の集いを公民館などが音頭とりになつてやれば、集まりやすいし、おもしろいでしょう。方法はいろいろあるでしょうがキャンプファイヤーでも囲んでやれば愉快で有意義なものになると思います。

答（村長）

一口にはむづかしいが、農業サイドでは、国県の施策にのり畜産団地の構成、こんにやく、たばこ高原そさいなど特産農業の主産地形成をしつかりしたものにして、集送ルートまでシステム化する。養蚕なども協業化大型化を進め、高能率高所得の農業を確立したい。そのための裏付として地域環境の整備を図り社会資本の充実により、より住みよい郷土づくりを進めなくてはならない。

自立専業の農家は少くなると思うが農外所得を得るための工業の導入も必要です。

また道路をよくして通勤による勤労所得の増加を図りたい。

わが村の商工業は、主として農家が対象になるので、農業所得の向上が購買力の増進に連り商工業の発展に連るわけです。

商工業サイドからはサービスの向上、技術や能力の開発、観光資源の活用などに努める必要があると思います。

春先に多い子供の火あそび

二月から五月にかけては空気が非常に乾燥し、又時おり強い風が吹きまくる季節です。

いままで村内に発生した火災（ボヤを含む）をみても、この季節が最も多くなつています。

冬期間火に親しんでいたものが暖かくなつてくると解放感から火の取り扱いがおろそかになりがちです。特に子供達の好奇心による火あそびから山火事などが多く発生しています。

火の恐しさを知らない子供達です、火災の恐しさを良く教え、子供の火遊びによる火災を出さないよう注意したいものです。

このごろの火災は、新建材や化学燃料を使用しているため、一旦火災になると火の廻りが早く大きな被害を出しています。火災は絶対出さないよう常に家族で話し合いなどをして注意して下さい。